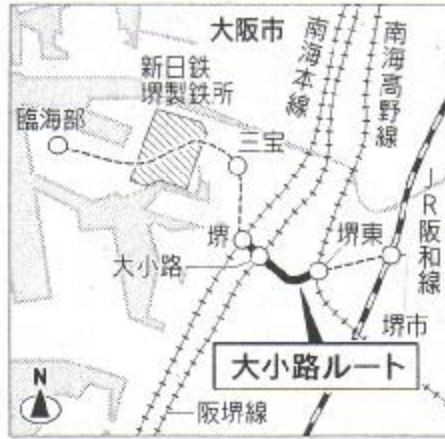


世代的
次路面電車
の
堺路

「大小路ルート」先行

阪堺線と乗り入れ検討

臨海部からJR阪和線・電車(LRT)ライト・堺市駅を結ぶ次世代路面レール・トランジット



の鉄道建設を検討している大阪府堺市は六日、一大小路(おおしようじ)ルート(約一・七キロ)を先行させることを明

らかにした。この区間は阪堺電気軌道の路面電車、阪堺線との相互乗り入れも検討し始めた。同ルートは目抜き通りの市道大小路線を東西に走り、南海本線堺駅、阪堺線大小路駅、南海高野線堺東駅を結ぶ。

ているが、市内中心部の活性化や自動車への影響に配慮して大小路ルートを中心に検討する。

阪堺電気軌道は阪堺線のうち堺市を走る区間の廃止を打ち出している。市は大小路ルートと阪堺線を乗り換えやすくするだけでなく、路面電車を相互に乗り入れられない可能性を探る。

LRTは従来の路面電車より速く走り、床が低いのが特色だ。市は二〇〇七年度に工事施工の認可取得をめざしており、実現すれば近畿初のLRTとなる。

南海本線と南海高野線には含まれた市内中心部を東西に走るルートはこのほかにも候補が挙がっ